

2021年9月期 第1四半期連結決算説明資料 (2020年10月～2020年12月)

株式会社 F P G

(東証第一部・コード：7148)



■ 事業区分と各事業の売上高について

本決算説明資料では、当社の事業を以下4つの区分に分けて説明しています。

① リースファンド事業

航空機・船舶・コンテナをリース対象とした、オペレーティング・リース事業案件の組成および管理、ならびにリース事業案件の匿名組合出資持分・任意組合出資持分・信託受益権の投資家への販売を行っています。主な売上は、オペレーティング・リース事業の組成におけるアレンジメント・フィー、匿名組合出資持分・信託受益権を投資家に販売する際に受け取る販売手数料、当社子会社のFPG Amentumが行う航空機投資管理サービスのサービス収入となります。

② 不動産ファンド事業

不動産特定共同事業法に基づく不動産小口化商品および株式会社FPG信託の信託機能を活用した不動産小口化商品の組成、投資家への販売を行っています。主な売上は、不動産小口化商品を販売した際に受け取る手数料です。

③ FinTech事業

ITシステムの受託開発、自社製品開発、ネットワークインフラ構築などを行っています。また、当社グループが保有する様々な金融ライセンスと情報技術を組み合わせた新たな金融商品・サービスの提供に取り組んでいます。主な売上はシステム開発・ネットワークインフラ構築に関わる業務受託料、および自社製品の販売売上です。

④ その他事業

保険事業、M&A事業、プライベートエクイティ事業および航空事業等を総称して、「その他事業」として開示しています。主な収益源は、保険事業およびM&A事業における手数料収入、プライベートエクイティ事業におけるプライベートエクイティファンドの譲渡収益、航空事業における輸送・航空撮影等のサービス売上となります。

■ リースファンド事業における表記について

① 組成金額

オペレーティング・リース事業案件のリース物件の取得価額の合計額を指します。

② 出資金販売額

オペレーティング・リース事業案件において、投資家に販売した匿名組合出資持分および信託受益権の合計額を指します。

③ 商品在庫

投資家に販売前の匿名組合出資持分、任意組合出資持分および信託受益権の合計額を指します。

2021年9月期 第1四半期決算の概要	3
リースファンド事業	8
不動産ファンド事業	13
未償還残高の推移	16
損益計算書/貸借対照表の概要	17
外部からの評価	19

2021年9月期 第1四半期決算

- リースファンド事業は、売上の回復基調が継続し順調なスタート
- 不動産ファンド事業は、顧客の高い需要により販売が大幅に伸長し、不動産小口化商品の売上としては、四半期ベースで過去最高
- Air Mauritiusの残存リスク10億円を損失処理し、これにより当案件の損失処理を完了

今後の方針・見通し

- リースファンド事業の売上回復基調を維持し、通期予想達成を目指す
- 不動産ファンド事業を積極的に拡大
- FinTech事業では新サービスのリリースを今期中に予定

2021年9月期 第1四半期連結損益計算書

- 売上高は、前年同期比増収
- 利益は、以下の要因により前年同期比減少
 - ・ Air Mauritiusの残存リスク10億円を損失処理し、これにより当案件の損失処理を完了
 - ・ 事業の選択と集中を図るべく、FPG証券の通貨関連店頭デリバティブ取引の譲渡を決定したことに伴い、特別損失2.4億円を計上

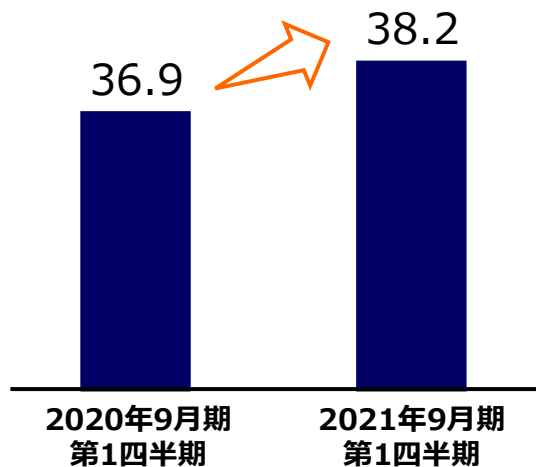
(単位：億円)

	2020年9月期 第1四半期	2021年9月期 第1四半期	前年同期比 ()内は増減率	2021年9月期 通期予想	進捗率
売上高	36.9	38.2	+1.3 (+3.4%)	138.6	27.6%
売上総利益	30.3	26.7	▲3.6 (▲12.0%)	-	-
販売費・一般管理費	15.3	16.8	+1.5 (+9.8%)	-	-
営業利益	14.9	9.8	▲5.1 (▲34.3%)	45.4	21.7%
経常利益	15.7	6.9	▲8.8 (▲56.1%)	40.0	17.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10.6	2.7	▲7.9 (▲74.4%)	28.0	9.7%
売上高総利益率	82.1%	69.9%	▲12.2pt	-	-
売上高営業利益率	40.5%	25.7%	▲14.7pt	32.8%	-
売上高当期純利益率 [※]	28.8%	7.1%	▲21.7pt	20.2%	-

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益を示す

前年同期との比較

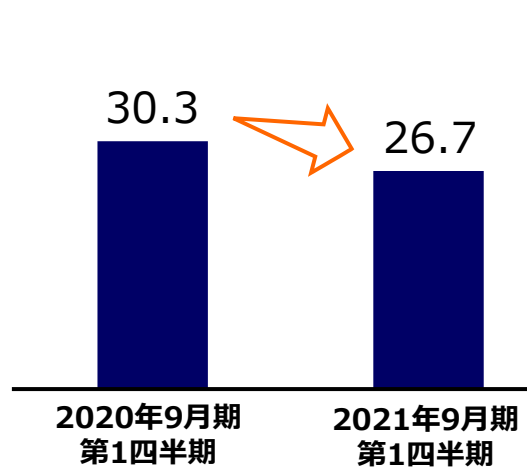
売上高 (億円)



売上高増 +1.3

- ・不動産ファンド事業の売上大幅増により増収を確保

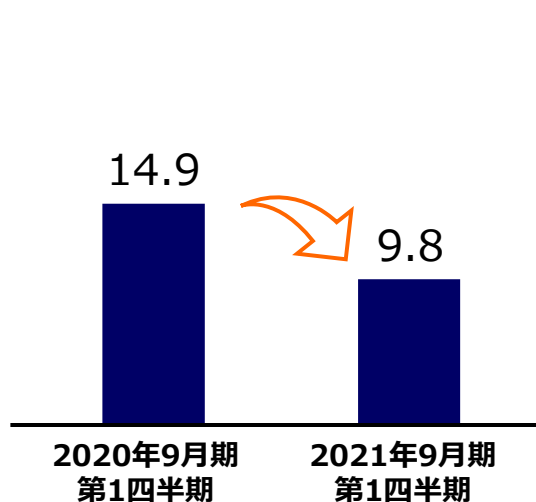
売上総利益 (億円)



売上総利益減少 ▲3.6

- ・Air Mauritiusの販売用航空機の評価損(4.9億円)を原価に計上

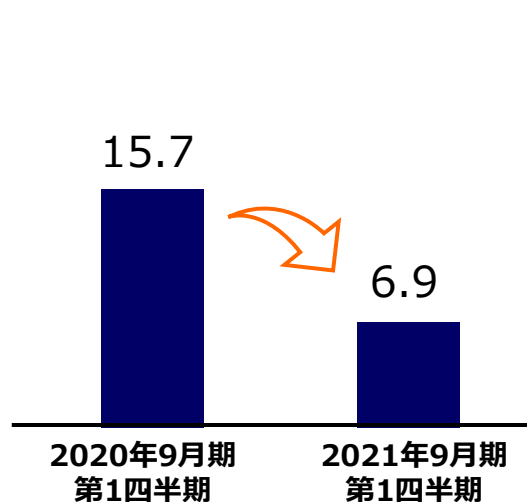
営業利益 (億円)



営業利益減少 ▲5.1

- ・売上総利益の減少と販売管理費が増加
- ・販売管理費は、FPGの人員増による人件費の増加と、2020年9月期に連結子会社化したFPGテクノロジー・北日本航空の販売管理費が増加

経常利益 (億円)



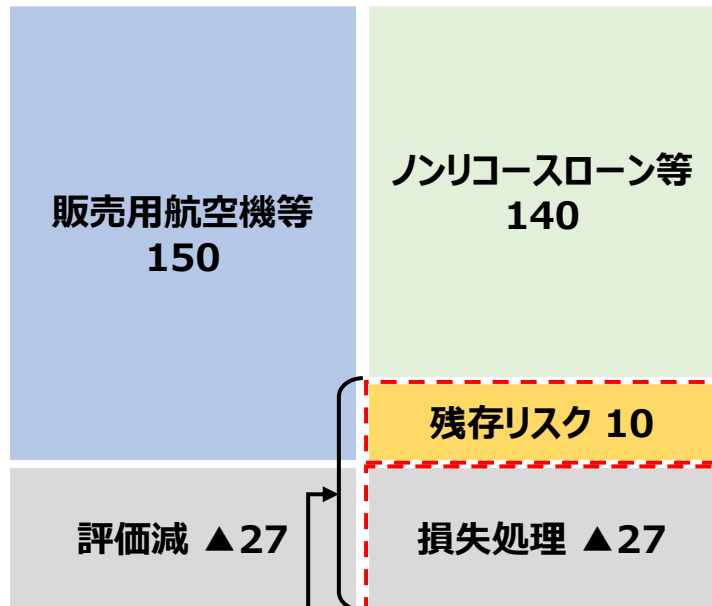
経常利益減少 ▲8.8

- ・営業利益の減少に加え、Air Mauritiusの関連の正味費用(5.0億円)を営業外費用に計上

- ノンコースローンは、Air Mauritiusからのリース料および販売用航空機の売却代金のみが返済原資となり、それ以外の返済義務は生じないため、当社が被る最大損失額は、当社出資額37億円
- 2020年9月期において、最大損失額37億円のうち、27億円を損失処理
- 2021年9月期第1四半期において、残る10億円を損失処理し、当案件の損失処理を完了
- Air Mauritius以外に経営破綻した借入人向けの当社出資金は無し

◆ 2020年9月末 B/S

(億円)



◆ 2020年12月末 B/S

(億円)



2021年9月期
第1四半期に損失処理

2020年9月期に
損失処理

当社出資額
(最大損失額)
37億円

- リースファンド事業は、前年同期並みまで回復し、通期予想に対しても順調な進捗
- 不動産ファンド事業は、前年同期比大幅増となり、通期予想に対しても好調な進捗

(単位：億円)

	2020年9月期 第1四半期	2021年9月期 第1四半期	前年同期比 ()内は増減率	2021年9月期 通期予想	進捗率
リースファンド事業	32.8	29.1	▲3.7 (▲11.2%)	105.4	27.6%
不動産ファンド事業	2.6	6.6	+4.0 (+154.1%)	20.0	33.2%
FinTech事業	-	1.1	+1.1 -	6.5	17.2%
その他事業	1.5	1.3	▲0.2 (▲12.6%)	6.7	20.5%
合計	36.9	38.2	+1.3 (+3.4%)	138.6	27.6%

- 出資金販売額は、航空機・船舶・コンテナの全てで販売が順調に進み、前年同期比増加
- 新規組成はスロースタートとなるも、パイプラインは順調に積み上がっており、今後の組成額は増加する見込み

（単位：億円）

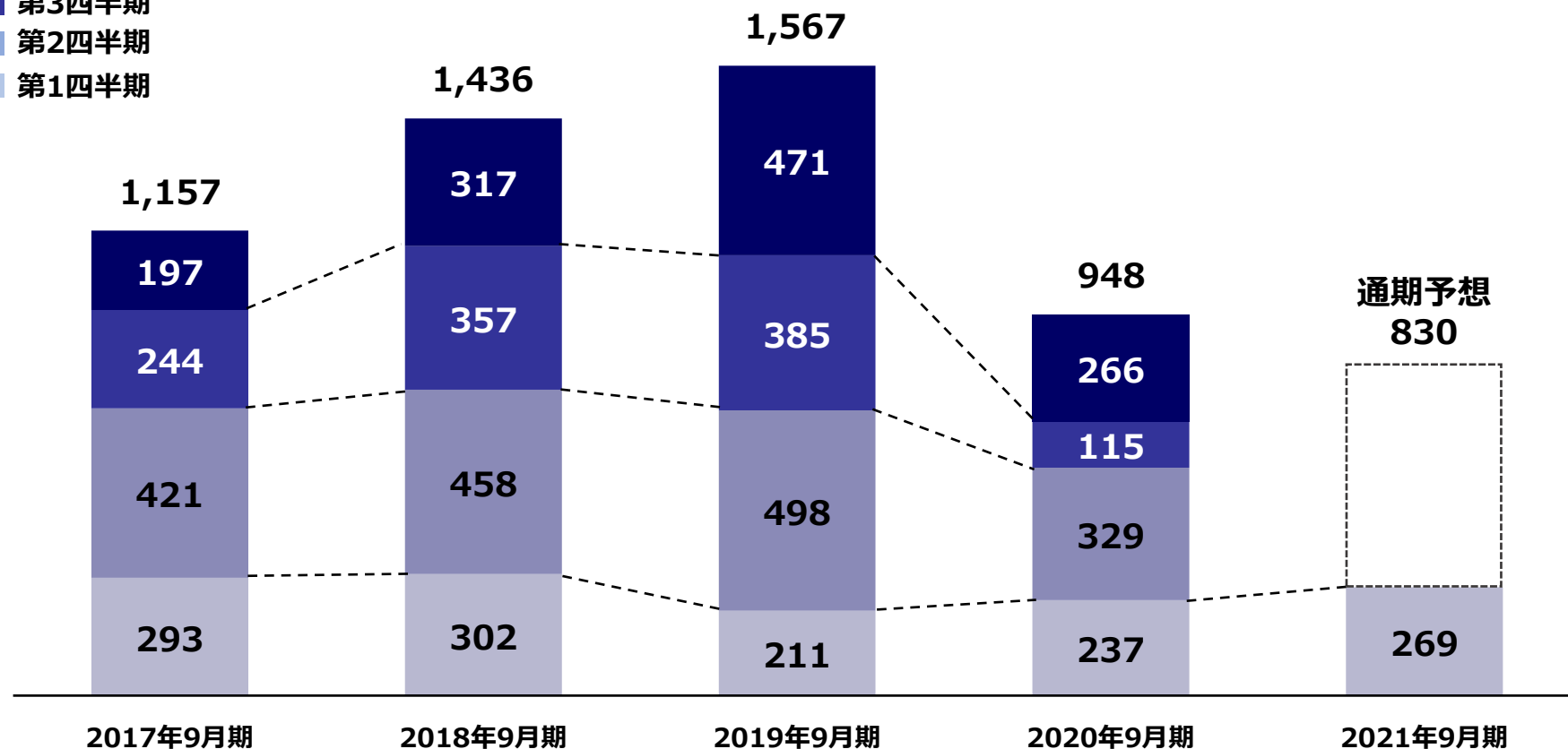
	2020年9月期 第1四半期		2021年9月期 第1四半期		前年同期比
リースファンド事業売上高	32.8		29.1		▲11.2%
出資金販売額	237.2	構成比	269.3	構成比	+13.5%
航空機	119.7	50.5%	93.6	34.7%	▲21.8%
船舶	111.3	46.9%	102.3	38.0%	▲8.0%
コンテナ	6.2	2.6%	73.4	27.3%	+1,083.9%
組成金額	514.8		209.1		▲59.4%
商品在庫	874.0		593.8		▲32.0%

- 第1四半期は前年同期を上回り、通期予想830億円に対して順調な進捗

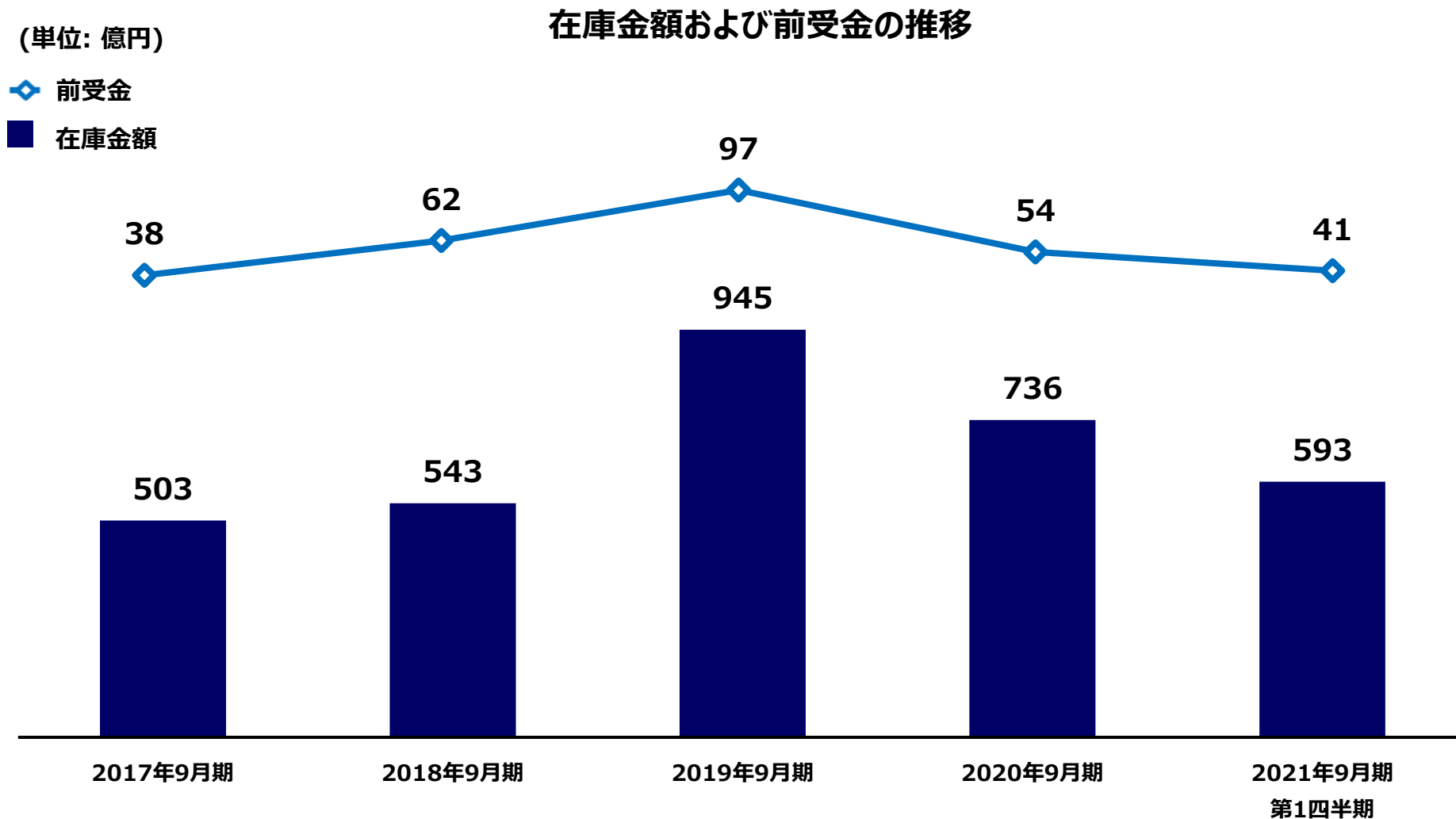
四半期別出資金販売額の推移

(単位：億円)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



- 第1四半期は好調な販売状況を背景に、在庫が減少

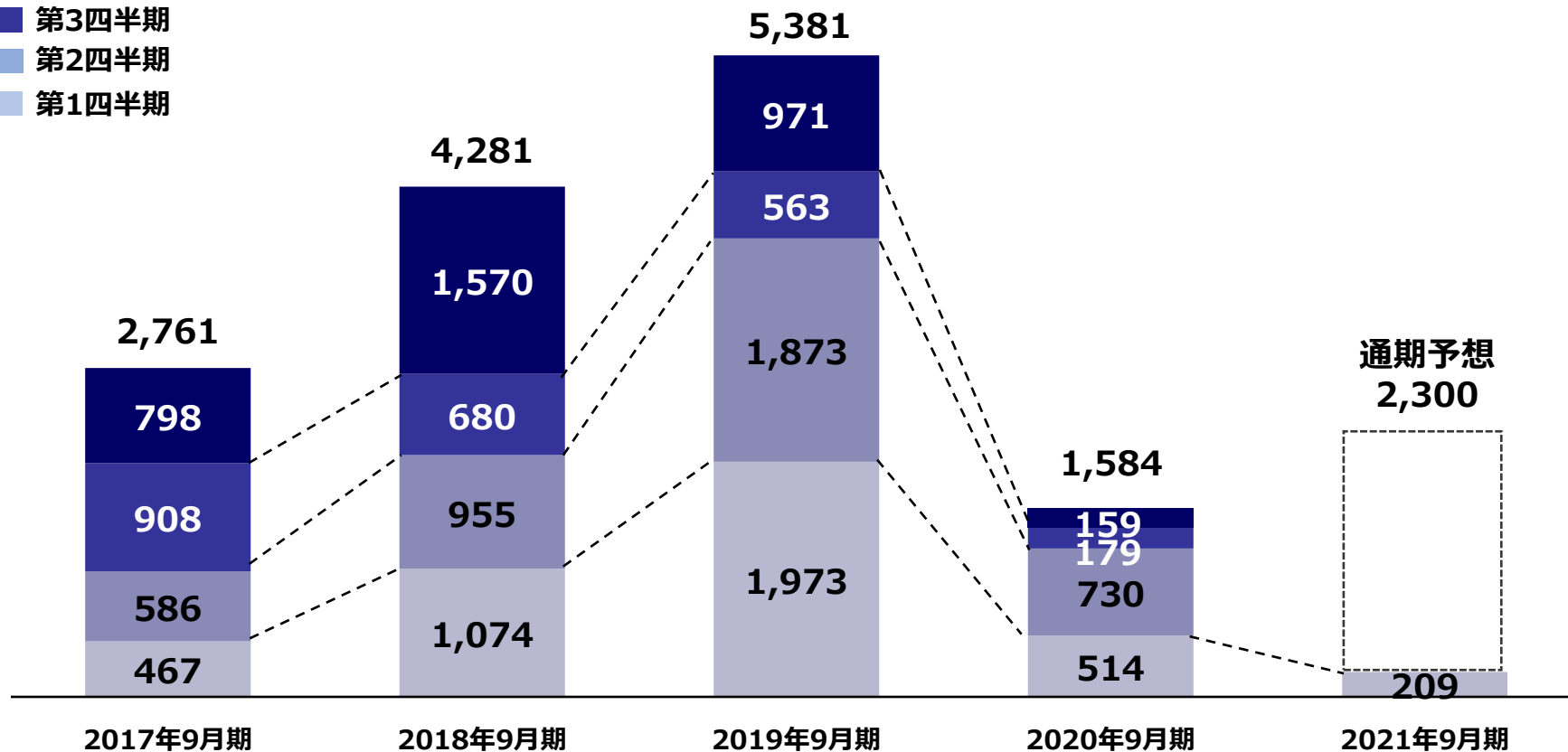


- 借借人に対する厳格な与信審査は継続も、信用力のある航空会社・海運会社とのリレーションを活かし、着実に組成を積み上げる方針

四半期別組成金額の推移

(単位: 億円)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



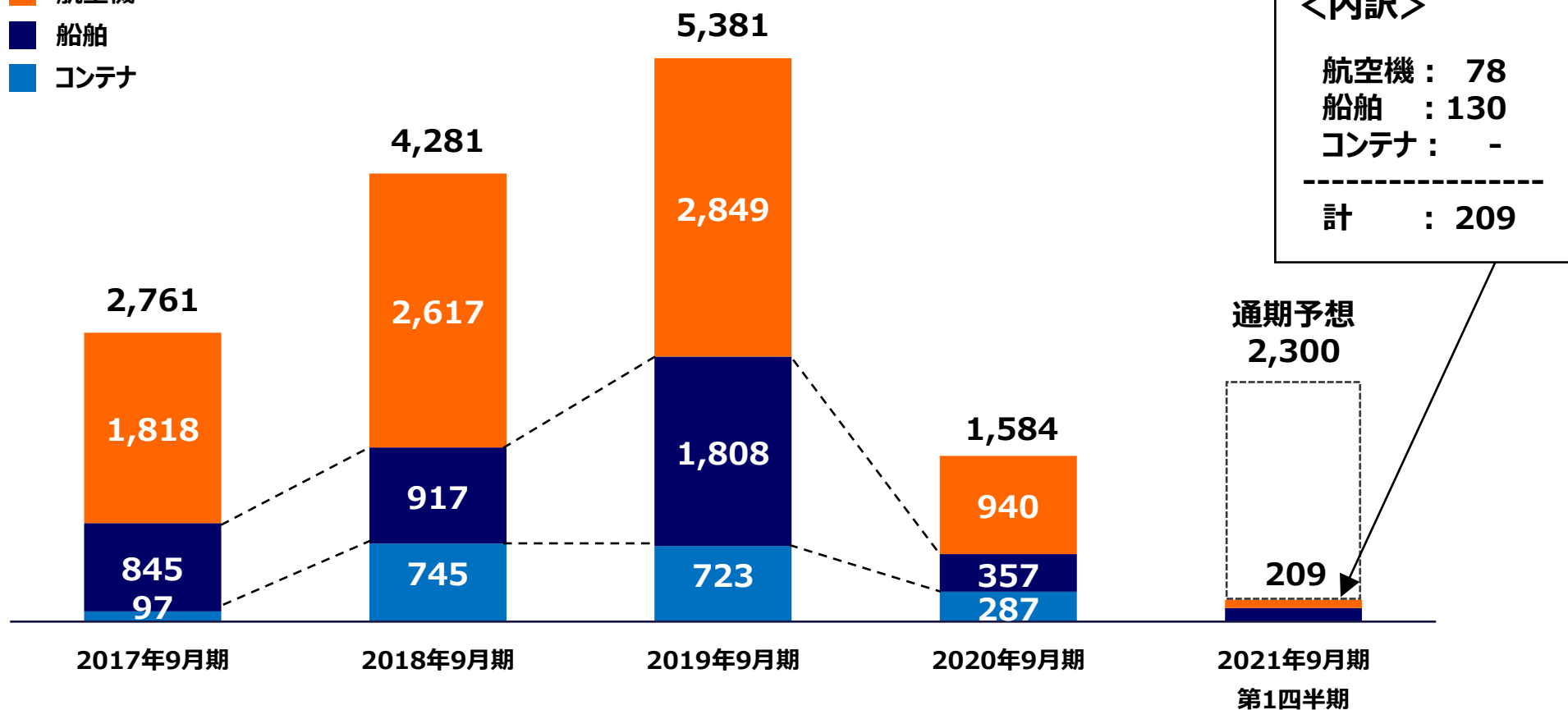
リースファンド事業 (5) リース資産別組成金額

- 将来の販売に向けた在庫確保の観点から、船舶・コンテナについては積極的に、航空機については案件を選別して取り組む方針

(単位: 億円)

リース資産別組成金額の推移

- 航空機
- 船舶
- コンテナ

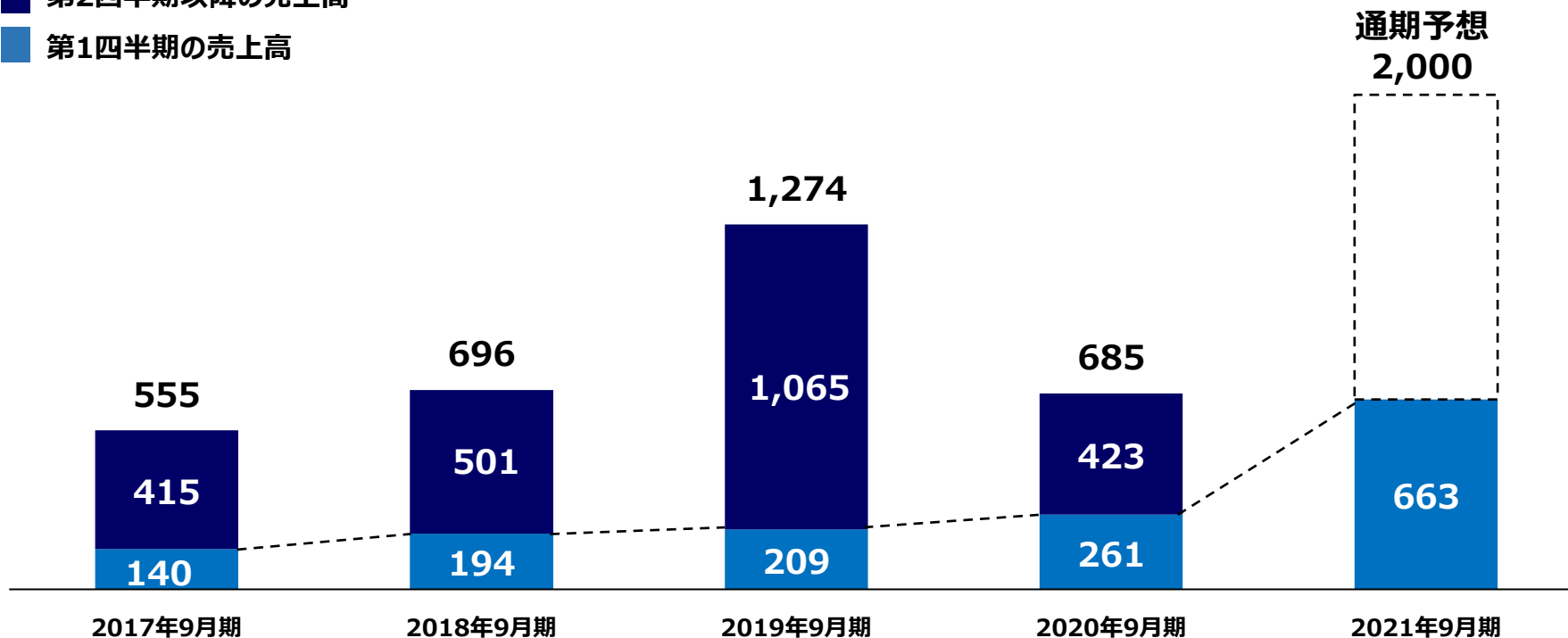


- 販売が好調につき、第1四半期の売上で前年度通期実績に迫る勢い
- 四半期の売上としては過去最高
- 2021年9月期 通期予想に対する進捗率は33%と、予想達成に向けて好調なスタート

不動産小口化商品の売上高の推移

(単位：百万円)

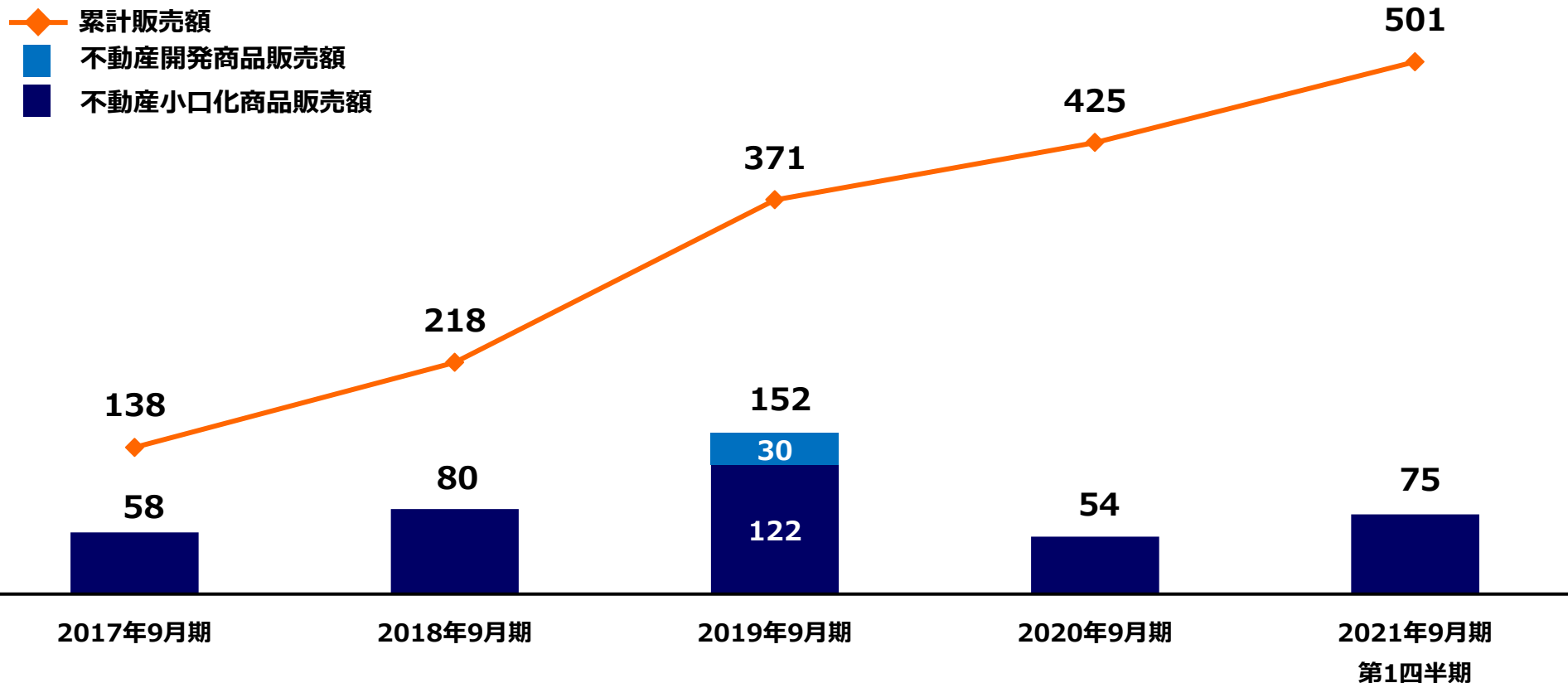
- 第2四半期以降の売上高
- 第1四半期の売上高



- 2020年12月時点で累計販売額500億円突破
- 既存投資家の途中売却に対応した販売も増加

単年度の販売額推移と累計販売額

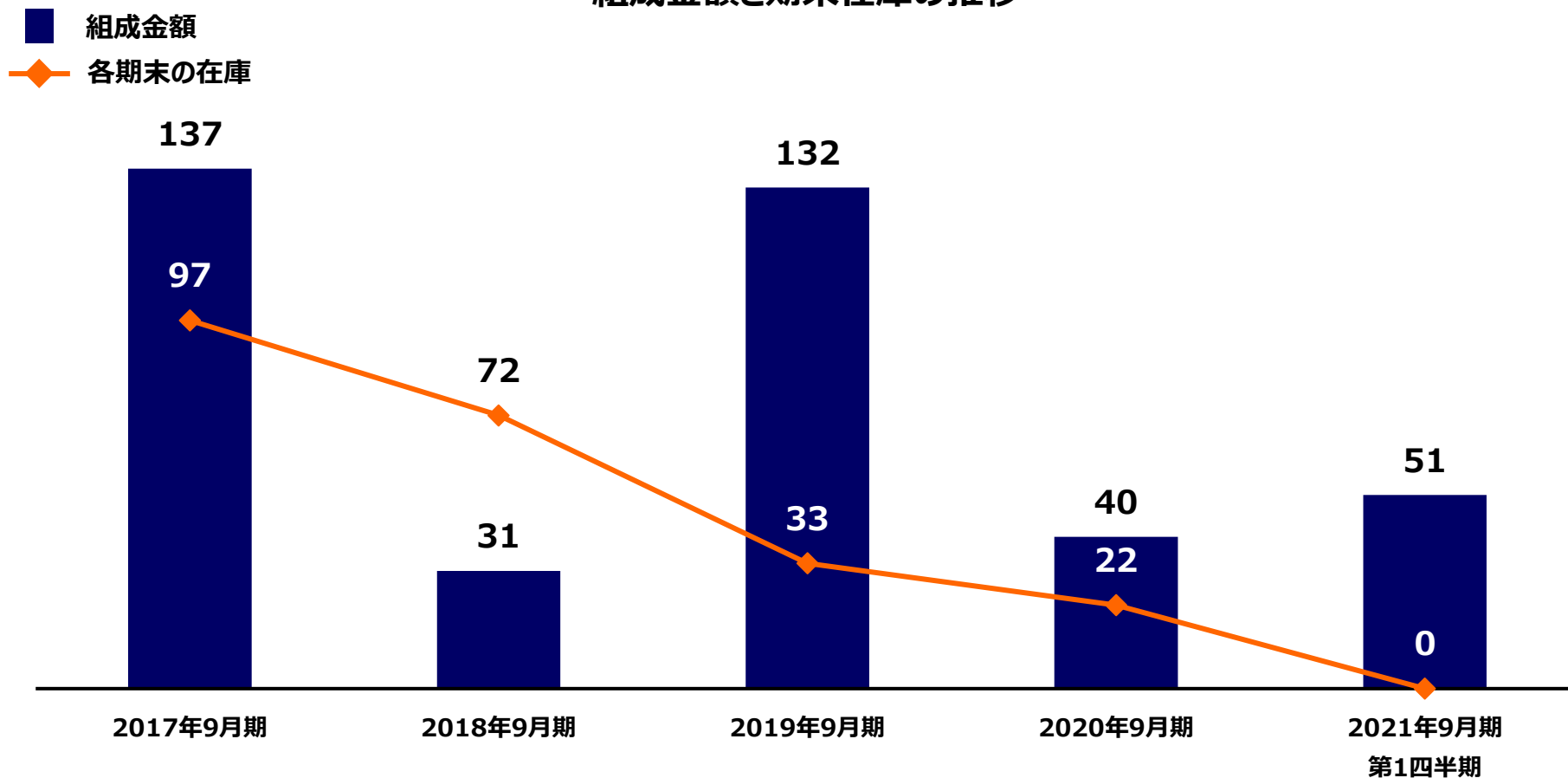
(単位：億円)



- 2020年12月末時点で、在庫は全て完売
- 販売開始後、即完売という状況が続いており、今後も積極的な組成を継続

(単位：億円)

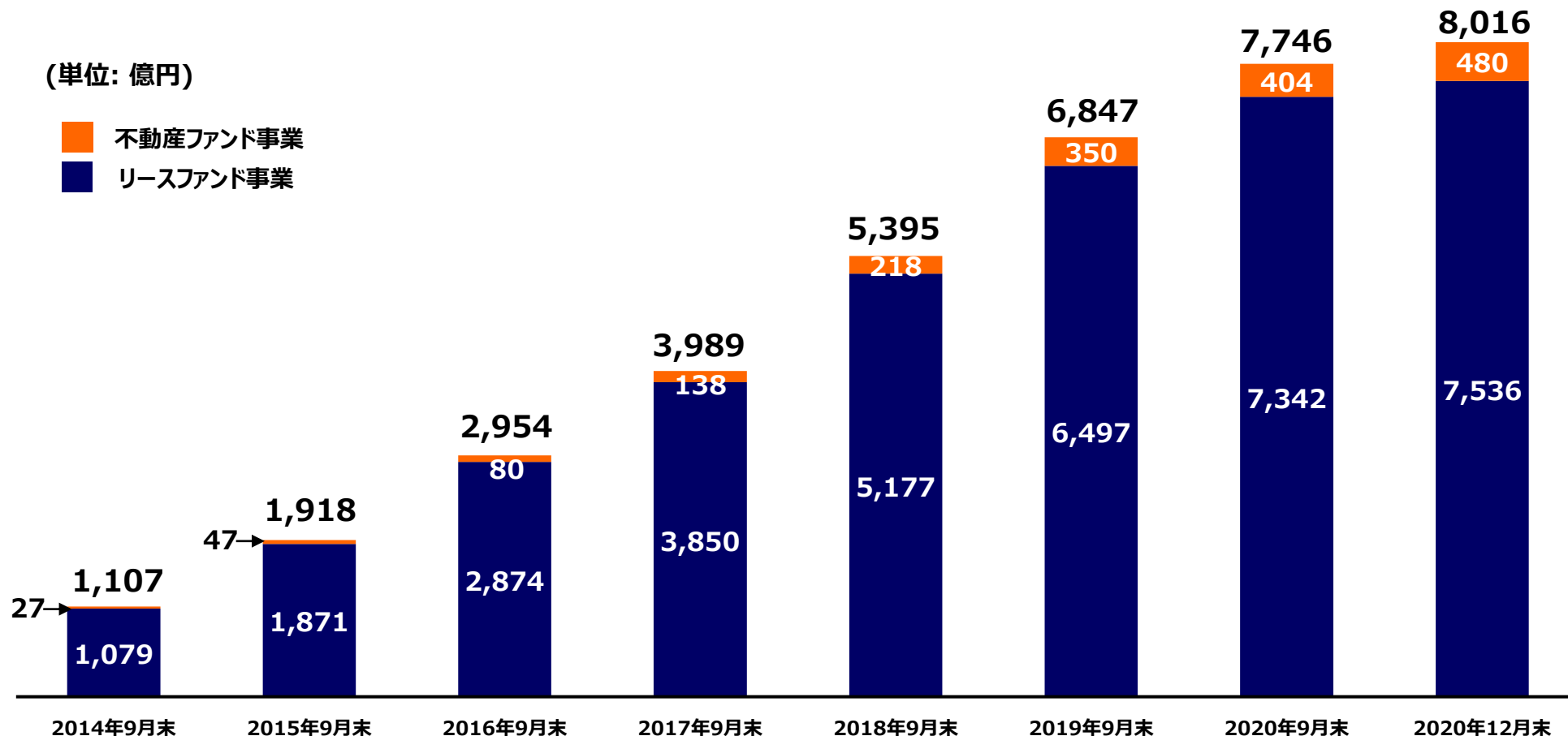
組成金額と期末在庫の推移



- 未償還残高1兆円の目標に対し、2020年12月末時点での未償還残高は8,016億円
- 今後償還を迎える案件での再投資需要を取り込むべく、提案を推進

(単位: 億円)

- 不動産ファンド事業
- リースファンド事業



※ 未償還残高とは、リースファンド事業において投資家から出資を受けた金額および不動産ファンド事業において不動産小口化商品を投資家へ販売した金額の合計額から、既償還額を除いたもの

損益計算書の概要

(単位: 億円)

	2020年9月期 第1四半期	2021年9月期 第1四半期	増減率
売上高	36.9	38.2	+3.4%
① 売上原価	6.6	11.5	+73.6%
売上総利益	30.3	26.7	▲12.0%
販売費・一般管理費	15.3	16.8	+9.8%
営業利益	14.9	9.8	▲34.3%
② 営業外収益	5.2	6.6	+26.2%
③ 営業外費用	4.4	9.5	+115.6%
経常利益	15.7	6.9	▲56.1%
税引前四半期純利益	15.7	4.4	▲71.7%
法人税等合計	4.9	1.9	▲60.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	10.6	2.7	▲74.4%

- ①売上原価 : 顧客紹介者への支払手数料、リースファンド事業の案件組成コスト、販売用航空機の商品出資金評価損を含む
 ②営業外収益 : 一時的に立替えた出資金を投資家に販売する際に徴収する立替利息(受取利息として計上)、金銭の信託運用益等を含む
 ③営業外費用 : 資金調達に伴う支払利息、JOL案件に伴うドル調達の支払利息、Air Mauritiusの関連費用を含む

貸借対照表の概要

(単位: 億円)

資産	2020年9月期	2021年9月期 第1四半期	対前期末比
流動資産	1,264.6	1,146.2	▲118.4
現金預金	271.5	342.7	+71.2
① 商品出資金	396.1	305.7	▲90.4
② 金銭の信託(組成用航空機)	340.3	288.1	▲52.2
③ 販売用航空機	146.6	139.8	▲6.8
④ 組成用不動産	22.1	-	▲22.1
固定資産	63.8	65.9	+2.1
資産合計	1,328.5	1,212.2	▲116.3
負債・純資産	2020年9月期	2021年9月期 第1四半期	対前期末比
流動負債	832.1	734.9	▲97.2
短期借入金等	728.7	631.7	▲97.0
SPCノンリコースローン(1年以内)	14.0	17.2	+3.2
⑤ 前受金	54.5	41.7	▲12.8
固定負債	221.4	209.4	▲12.0
長期借入金等	92.0	77.8	▲14.2
SPCノンリコースローン	125.4	125.3	▲0.1
負債合計	1,053.6	944.4	▲109.2
純資産合計	274.8	267.7	▲7.1
負債純資産合計	1,328.5	1,212.2	▲116.3

- ①商品出資金：リースファンド事業において投資家に販売するまで当社グループが一時的に立替えている出資金
 ②金銭の信託(組成用航空機)：航空機リース案件に係る信託受益権の在庫
 ③販売用航空機：Air Mauritiusを賃借人とするオペレーティング・リース案件のためにSPCが保有する航空機
 ④組成用不動産：不動産小口化商品の在庫
 ⑤前受金：リースファンド事業に係る手数料の前受金を含む



JPX日経インデックス400



S&P/JPX カーボン・
エフィシエント指数

※ 2020年12月現在

本資料に掲載されている業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、掲載の見通しとは異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 F P G 経営企画部

TEL : (03) 5288-5691

E-mail : ir@fpg.jp

URL : <https://www.fpg.jp>